

令和3(2021)年度 とちぎネットアンケート結果

第6回 「かかりつけ薬剤師・薬局について」

1 調査目的

かかりつけ薬剤師・薬局の普及状況や健康サポート薬局等の認知度を把握し、今後の施策に活かします。

(担当課:保健福祉部薬務課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

728 名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和3(2021)年7月30日 ~ 8月12日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答

3 回答者属性

回答数 435 名 (回答率59.8%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	197	45.3 %
女性	238	54.7 %
計	435	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	4	0.9 %
20代	14	3.2 %
30代	69	15.9 %
40代	113	26.0 %
50代	99	22.7 %
60代	77	17.7 %
70代以上	59	13.6 %
計	435	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	211	48.5 %
県南	113	26.0 %
県北	111	25.5 %
計	435	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

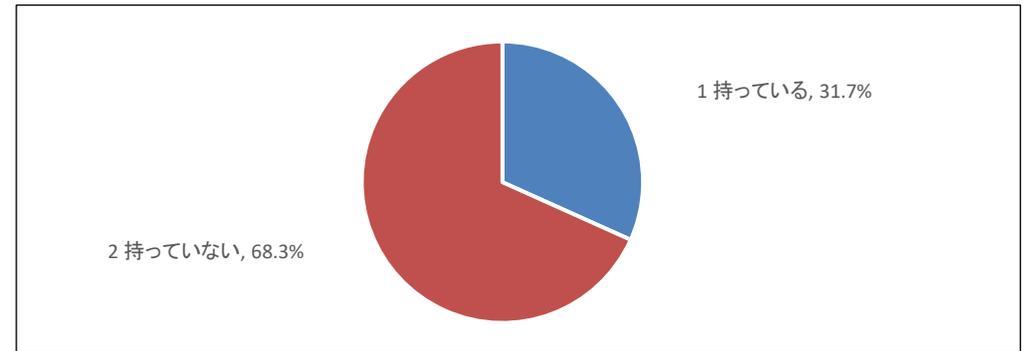
4 調査結果

問1 あなたは「かかりつけ薬局(※)」を持っていますか？

※「かかりつけ薬局」とは、複数の病院や診療所(クリニック)を受診しても、薬局は1カ所と決めていつも利用する薬局のことです。

	構成比	回答数
1 持っている	31.7%	138
2 持っていない	68.3%	297

(n = 435)

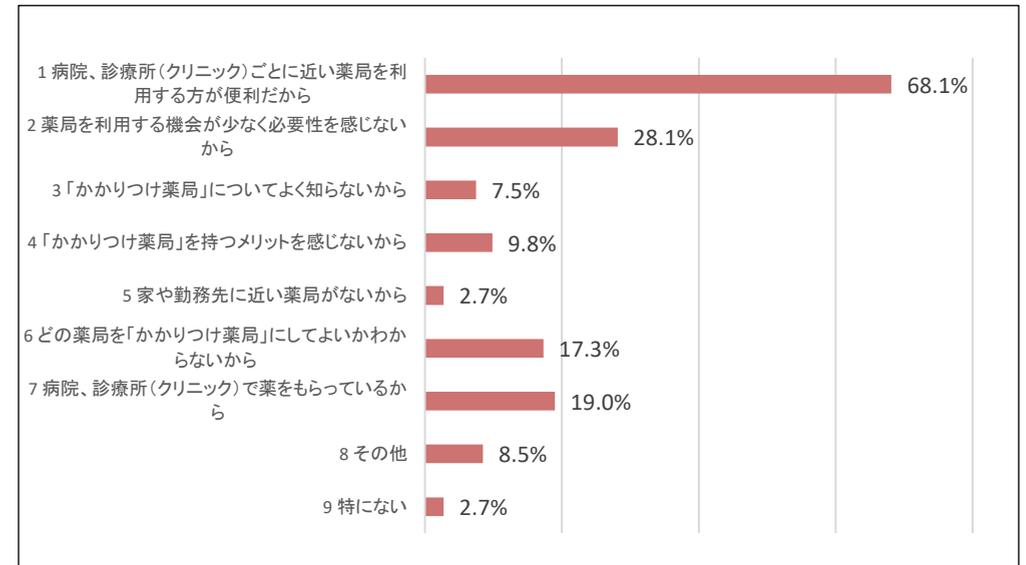


問2 (問1で選択肢2を選んだ方にお聞きします。)

あなたが「かかりつけ薬局」を持たない理由はなぜですか？(複数回答可)

	構成比	回答数
1 病院、診療所(クリニック)ごとに近い薬局を利用する方が便利だから	68.1%	201
2 薬局を利用する機会が少なく必要性を感じないから	28.1%	83
3 「かかりつけ薬局」についてよく知らないから	7.5%	22
4 「かかりつけ薬局」を持つメリットを感じないから	9.8%	29
5 家や勤務先に近い薬局がないから	2.7%	8
6 どの薬局を「かかりつけ薬局」にしてよいかわからないから	17.3%	51
7 病院、診療所(クリニック)で薬をもらっているから	19.0%	56
8 その他	8.5%	25
9 特にない	2.7%	8

(n = 295)

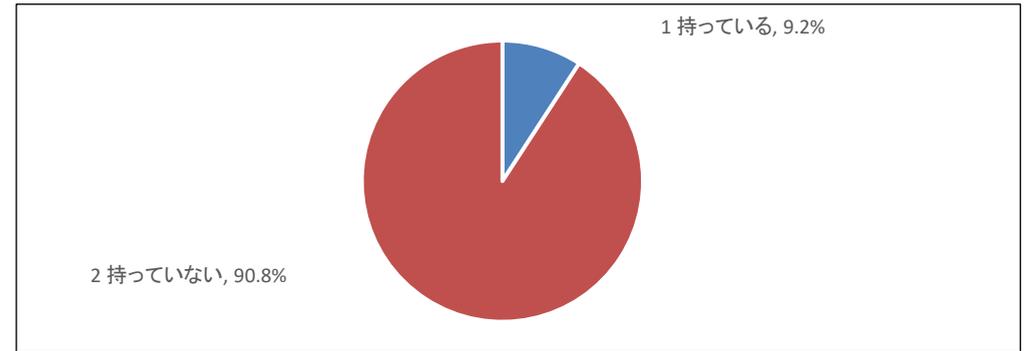


問3 あなたは、「かかりつけ薬剤師(※)」を持っていますか？

※「かかりつけ薬剤師」とは、いつも同じ薬剤師が、患者の服薬や副作用の状況等を一元的・継続的に把握・管理します。「かかりつけ薬剤師」を持つためには、患者本人が薬剤師を指名し、同意書に署名する必要があります。

	構成比	回答数
1 持っている	9.2%	40
2 持っていない	90.8%	395

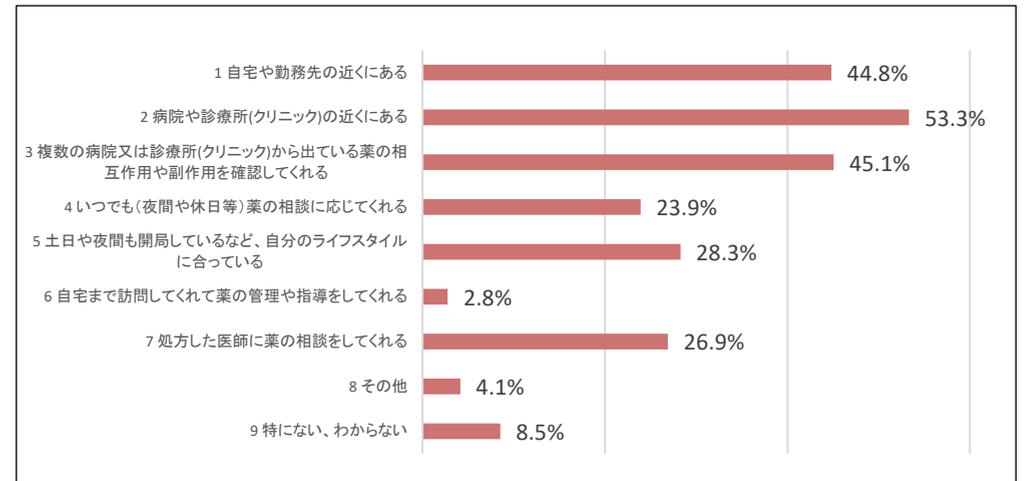
(n = 435)



問4 あなたが「かかりつけ薬剤師」又は「かかりつけ薬局」に望むことは何ですか？(複数回答可)

	構成比	回答数
1 自宅や勤務先の近くにある	44.8%	195
2 病院や診療所(クリニック)の近くにある	53.3%	232
3 複数の病院又は診療所(クリニック)から出ている薬の相互作用や副作用を確認してくれる	45.1%	196
4 いつでも(夜間や休日等)薬の相談に応じてくれる	23.9%	104
5 土日や夜間も開局しているなど、自分のライフスタイルに合っている	28.3%	123
6 自宅まで訪問してくれて薬の管理や指導をしてくれる	2.8%	12
7 処方した医師に薬の相談をしてくれる	26.9%	117
8 その他	4.1%	18
9 特にない、わからない	8.5%	37

(n = 435)

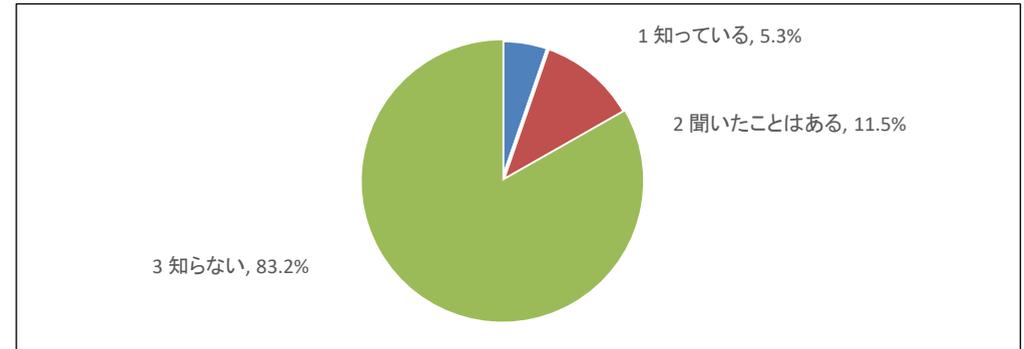


問5 あなたは、「健康サポート薬局(※)」という言葉を知っていますか？

※「健康サポート薬局」とは、行政が定める一定の基準を満たしている薬局で、「かかりつけ薬局」の機能に加えて、市販薬や健康食品に関することはもちろん、介護や栄養などについて気軽に相談でき、みなさんの健康の維持増進をサポートする薬局のことです。

	構成比	回答数
1 知っている	5.3%	23
2 聞いたことはある	11.5%	50
3 知らない	83.2%	362

(n = 435)

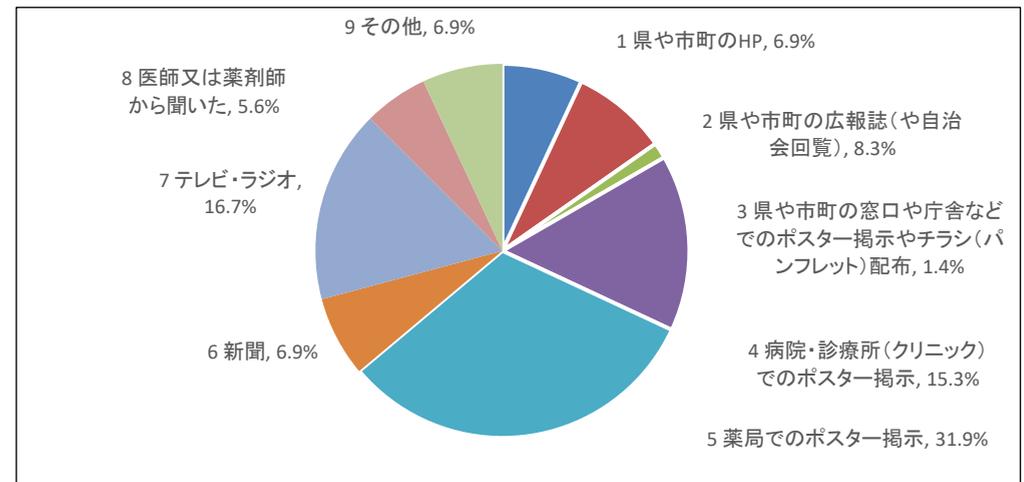


問6 (問5で選択肢1又は2を選んだ方にお聞きします。)

「健康サポート薬局」をどこで知りましたか？

	構成比	回答数
1 県や市町のHP	6.9%	5
2 県や市町の広報誌(や自治会回覧)	8.3%	6
3 県や市町の窓口や庁舎などでのポスター掲示やチラシ(パンフレット)配布	1.4%	1
4 病院・診療所(クリニック)でのポスター掲示	15.3%	11
5 薬局でのポスター掲示	31.9%	23
6 新聞	6.9%	5
7 テレビ・ラジオ	16.7%	12
8 医師又は薬剤師から聞いた	5.6%	4
9 その他	6.9%	5

(n = 72)

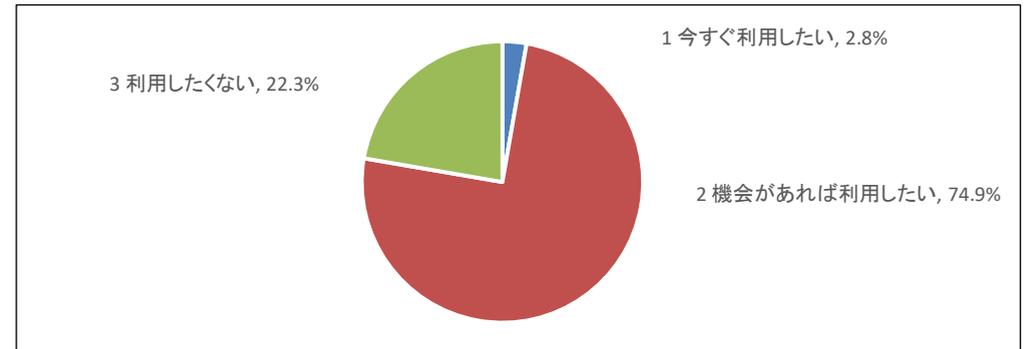


問7 あなたは、「オンライン服薬指導※」を利用したいと思いますか？

※「オンライン服薬指導」とは、パソコンやスマートフォンなどを使用して薬剤師が患者に薬の飲み方等を説明することです。これまでは法令により原則として薬剤師が対面で服薬指導することが義務づけられていましたが、2020年9月から一定の要件のもとにオンライン服薬指導が可能となりました。

	構成比	回答数
1 今すぐ利用したい	2.8%	12
2 機会があれば利用したい	74.9%	326
3 利用したくない	22.3%	97

(n = 435)

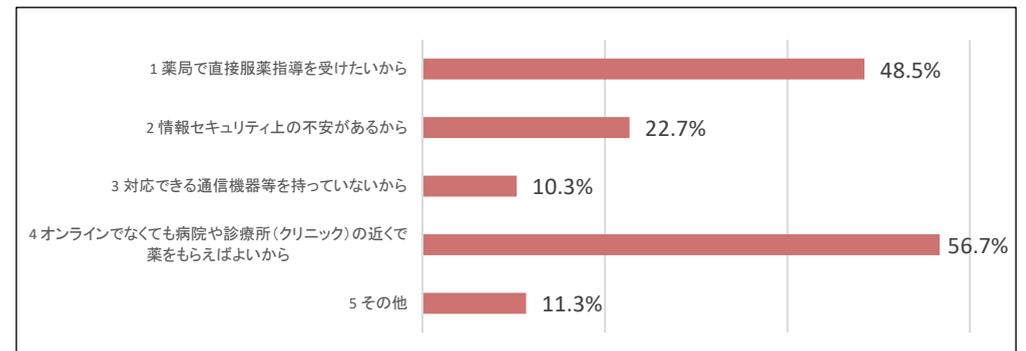


問8 (問7で選択肢3を選んだ方にお聞きします。)

あなたが「オンライン服薬指導」を利用したくない理由はなぜですか？(複数回答可)

	構成比	回答数
1 薬局で直接服薬指導を受けたいから	48.5%	47
2 情報セキュリティ上の不安があるから	22.7%	22
3 対応できる通信機器等を持っていないから	10.3%	10
4 オンラインでなくても病院や診療所(クリニック)の近くで薬をもらえばよいから	56.7%	55
5 その他	11.3%	11

(n = 97)



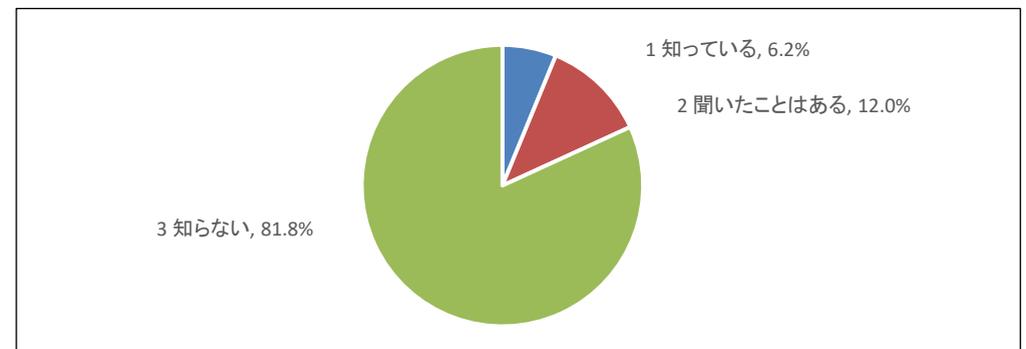
問9 あなたは「地域連携薬局(※1)」または「専門医療機関連携薬局(※2)」を知っていますか？

※1「地域連携薬局」とは、入退院時や在宅療養の際に、地域の病院、診療所(クリニック)や薬局と連携しながら一元的・継続的に対応できる薬局です。□

※2「専門医療機関連携薬局」とは、がん等の専門的な治療に病院と連携して対応できる薬局です。

	構成比	回答数
1 知っている	6.2%	27
2 聞いたことはある	12.0%	52
3 知らない	81.8%	356

(n = 435)



問10 あなたは「地域連携薬局」または「専門医療機関連携薬局」を利用したいと思いますか？

※どちらの薬局も、必要な基準を満たしていることを知事が認定した薬局ですので、患者さんが自身に適した薬局を選択する際の目安になります。

	構成比	回答数
1 今すぐ利用したい	3.2%	14
2 機会があれば利用したい	86.7%	377
3 利用したくない	10.1%	44

(n = 435)

